



さくらっこ!



戸塚区青少年指導員協議会は 戸塚区青指



目次

P. 1…子育てにおける良い・悪いの判断基準 (モノサシ) / P. 2・3…親子でお出かけスポット第1弾
P. 4…子育てに関する相談窓口・こども相談窓口 / 2024年度 下期行事・2025年度 上期行事予定

子育てにおける良い・悪いの判断基準 (モノサシ)

子育て ワンポイント!

No.28

「おとなしくさせるためのついでにYouTubeを見せています」「お小遣いやお年玉はいくらが良いでしょう」「子どもが学校に行きたくないと言っています」「ゲームを止めさせたいけど言うことを聞きません」「推しに夢中で勉強が手に付きません」「プチ整形をしたいと言いました」「何でも言うことをきくので逆に心配です」。親としてはどうすれば良いのでしょうか。多様性も大切にされる昨今、何が良く何が悪いのか、保護者としても判断に苦しみ場面が多いのではないのでしょうか。

テレビ、ラジオやSNSのメディアを通して毎日いろいろな情報が流れています。

SNSなどで問いただければ様々な答えが返ってきます。「私ならこうする」「私はこうした」「これだけはしてはいけない」など。「そうすれば良いんだ」「やっぱりそうか」と目先の回答に飛び付いて良いものなのでしょうか。多くの意見を参考にするのは良いことです。しかし、自分の子どもにとって何が良く何が悪いのか、その判断基準をしっかりと持って決めることが大切です。ではその判断基準とは。

「生きていくということにプラスとなるものは良い、そうでないものは悪い」です。

ちょっと強引な定義かも知れませんが、大人も迷う今だからこそ必要な判断基準と考えてください。

そしてその良い・悪いの判断には子育ての目的が明確になっていなければなりません。再確認しましょう。

子育ての目的は、子どもの「自立」です。

自分で、朝起きて、着替えて、ご飯を食べて、トイレに行っていくという身体的自立。物事に興味を持ち、挑戦し、成果を得て自信を持ち、自分らしさを持つという精神的自立。したい・できる仕事を選択決定して、継続的にお金を得るという経済的自立。

これらが「自立の三本柱」です。

そして、自分で自分を律しコントロールする力、「自律」も必



要です。

子育ての目的は子どもの「自立」と「自律」、二つの「じりつ」です。



つまり自分の子どもにとっての「自立」と「自律」のためにプラスとなるものは良い、そうでないものは悪いということ です。子どもが可哀そう、子どもに嫌われたくないなど、その場の気持ちに引きずられることなく、これらを判断基準のモノサシにして前述の『親としてはどうすれば良いのでしょうか』を考えてみてください。

例えば「子どもが学校に行きたくないと言っています」の状況においては、何年生なのか、何人兄弟なのか、親への甘え不足はないか、食欲不振や睡眠不足はないか、成績や遊び方に変化はないか、塾には行っているのか、学校に行く意味を親子で一緒に考えたことはあるか…などを踏まえた上で、行かせた方が良いのか、休ませた方が良いのかを考えてみましょう。

子どもの年齢によって、また家庭によって、正しい接し方は違って当然です。小学校まではこのルールとか、他の家庭とは違って我が家はこのルールなどの取り決めを作ることが大切です。年齢によっては親からの一方的なルール宣言になることもあるでしょう。しかし、基本的には「こういう理由でこう決める」と説明し子どもに納得させることが大切です。くどいようですが、その理由は「自立」と「自律」がベースになっていることが重要です。

私たち大人にとっても良い事と悪い事の判断が分からなくなる時があります。

国や民族間の紛争など、一方にとって生きるということが、もう一方にとっては生きることを阻害することもあるからです。個人のわがママが他の皆に迷惑を及ぼすなど、個人にとっての良い事が集団においての良い事を阻害する場合もあります。それぞれどこに立場を置くかによって判断が変わってきます。

親としては「子育てにおける良い・悪いの判断基準」を一つのモノサシにして、親という漢字の通り「木の上に立つて」という立ち位置から、自分の子どもの「自立」と「自律」を「見守る」という姿勢を貫きましょう。

